

2021年度

K 2—2

国 語

2月25日(木)

人文社会科学部 (法学科)

16 : 25 ~ 17 : 15

【前期日程】

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(1枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、4ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 問題は、声を出して読んではいけません。
- 6 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 7 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

著作権未許諾

次の文章は、ウルリヒ・ベック著『危険社会―新しい近代への道』から一部を抜粋したものである。文章を読んで問題に答えなさい。なお、問題文を記載するにあたっては、原文を一部改めた。(配点四〇%)

著作權未許諾

著作権未許諾

〔出典 ウルリヒ・ベック著『危険社会―新しい近代への道』伊藤美登里訳、法政大学出版局、一九九八年、三五〇―四一頁。〕

(注1) ハリスバーグ原子炉の事故 アメリカ合衆国ペンシルベニア州ハリスバーグ郊外にあるスリーマイル島原子力発電所における事故(一九七九年

三月二十八日)のこと。原子炉冷却の不具合により炉心が溶融し、放射性物質が放出された。

(注2) カモフラージュ 本当の姿が知られないように偽りごまかすこと。

(注3) 蓋然性 ある事柄が起こることが十分に予測できること。

(注4) 内縁 法律上の夫婦関係とは認められない男女関係。

(注5) 弁証法 物事の対立や矛盾を克服することにより、より高次の結論に到達するという考え方のこと。

問題 著者の考え方を踏まえつつ、傍線部についてのあなたの考えを具体的な例などを用いて四〇〇字以上五〇〇字以内で説明しなさい。